（太枠内にご記入ください）

機器分析評価センター

|  |
| --- |
| **依頼測定申込書（学内用）** |
| 同意欄 | □　*下記の誓約事項に同意し，依頼分析を申し込みます。*※ [参考] チェックボックスは、「四角」の変換候補（■）で差し替えてください。 |
| 機器名 | CHNS有機元素分析装置（varioEL Ⅲ） |  依頼日： 年 月 日 |
| 依頼者 | 所属：　研究室：　依頼者名：　 ※ 依頼者は**指導教員**としてください。学生が提出する場合は、指導教員の許可が必要です。 | 【代表連絡先】　対応者名：　内線番号：　その他連絡先：　※ プライベートな個人情報は書類に記入せず、必要なら別途担当者に通知してください。 |
| 試料名 | （データに付与する試料名を記入してください。）詳細は別紙 |
| 試料内容 | （試料詳細、使用条件、保管条件、返却の有無等を記入してください。）［試料数合計］　　　個　（＝［検体数×測定回数］）詳細は別紙　 |
| 依頼内容 | （使用する分析機器の希望、分析項目、分析条件、データ処理の方法等を記入してください。）詳細は別紙 |
| 特記事項 | （試料の安全衛生上及び法律上の注意があったら記入してください。） |
| 受付日 |  | 依頼番号 |  |
| 備考欄 |  |

提出先：各機器取扱担当者（大学連携研究設備ネットワークの「**依頼測定**」により送信できます）

誓約事項

1) 機器分析評価センター（以下、センターとします。）利用細則を遵守します。

2) 依頼分析によって機器の管理者が直接取得したデータ等（以下、分析データとします。）を利用した論文は、原則としてその管理者を共著者とすることを奨励します。また、間接的に機器の管理者が関与した場合は、その管理者又はセンターを謝辞に記載することを奨励します。

3) 本誓約事項に違反した場合は、センターが必要に応じて依頼者に対し依頼分析の受入を停止するなどの措置を取ることを承諾します。

（別紙）　補足事項があれば、書式及び文面を任意としてご記入ください。

**＝＝元素分析依頼の詳細＝＝**

**研究者名**：

**研究テーマ名**：

**硫黄分析**：　必要　／　不要　　　　　　　**秤量手順の講習**：　必要　／　不要

※　／ のところはどちらか選択してください。

※　以下の書式は、各項の回答が書いてあれば、利用者が編集することができます。たとえば、条件が異なる試料の場合、必要な分だけコピーして記入してください。

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

**種類**：　　　　　（下記リストから、記号を記入。）

（Ａ）主にCHNO元素からなる一般的な有機化合物・ポリマー　［燃えやすいもの］

（Ｂ）石炭・カーボン・多環芳香族　［燃えにくく、多量の酸素を必要とするもの］

（Ｃ）金属酸化物・多孔質材料　［有機系元素の割合が少ないもの］

（Ｄ）土壌・植物等　［不均一なもの］

（Ｅ）その他（　　　）　<- 内容を記載してください。

**妨害元素**：　　**サンプリングは下記の注意事項にしたがって行ってください！**

【ハロゲン】　フッ素 有　／　フッ素以外のハロゲン 有　／　無

【アルカリ金属・アルカリ土類金属】　有　／　無

【ケイ素】　有　／　無　　　　　　【リン】　有　／　無

【その他金属】　　　　　　　　　　　（分取できないほど微量(trace level)であれば記入不要）

※ フッ素、ハロゲン、リンを含む場合は、「銀(silver)ボート」などを使ってください。

※ 参考文献にWO3（酸化タングステン）を使用するべきと記載されている元素を含む場合は、WO3を混ぜて試料調製します。詳しくはご相談ください。

※ アルカリ・アルカリ土類金属は、担当者の指示にしたがってください。基本的にWO3を使用します。

※ 妨害元素を含む試料を梱包したときは、どの試料が該当するか付箋などで示してください。

**試料の状態**：　固体（粉末状）　／　固体（固形物）　／　液状　／　その他（　　　）

**吸着・反応性**：　吸水性　／　酸化性・自己反応性　／　爆燃性　／　その他（　　　）

※ 粉末状以外の試料は、サンプリング方法が異なることがあります。詳しくはご相談ください。

**サンプル数**：　試料　　　個　×　測定回数　　　回　　＝　　　個

**試料の概要・構造等**：

※記入は任意。構造式を添付するときは、Alt+Ctrl+Vキーで「図として貼付」してください。

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――